



平成18年11月30日  
交通政策審議会  
第20回港湾分科会

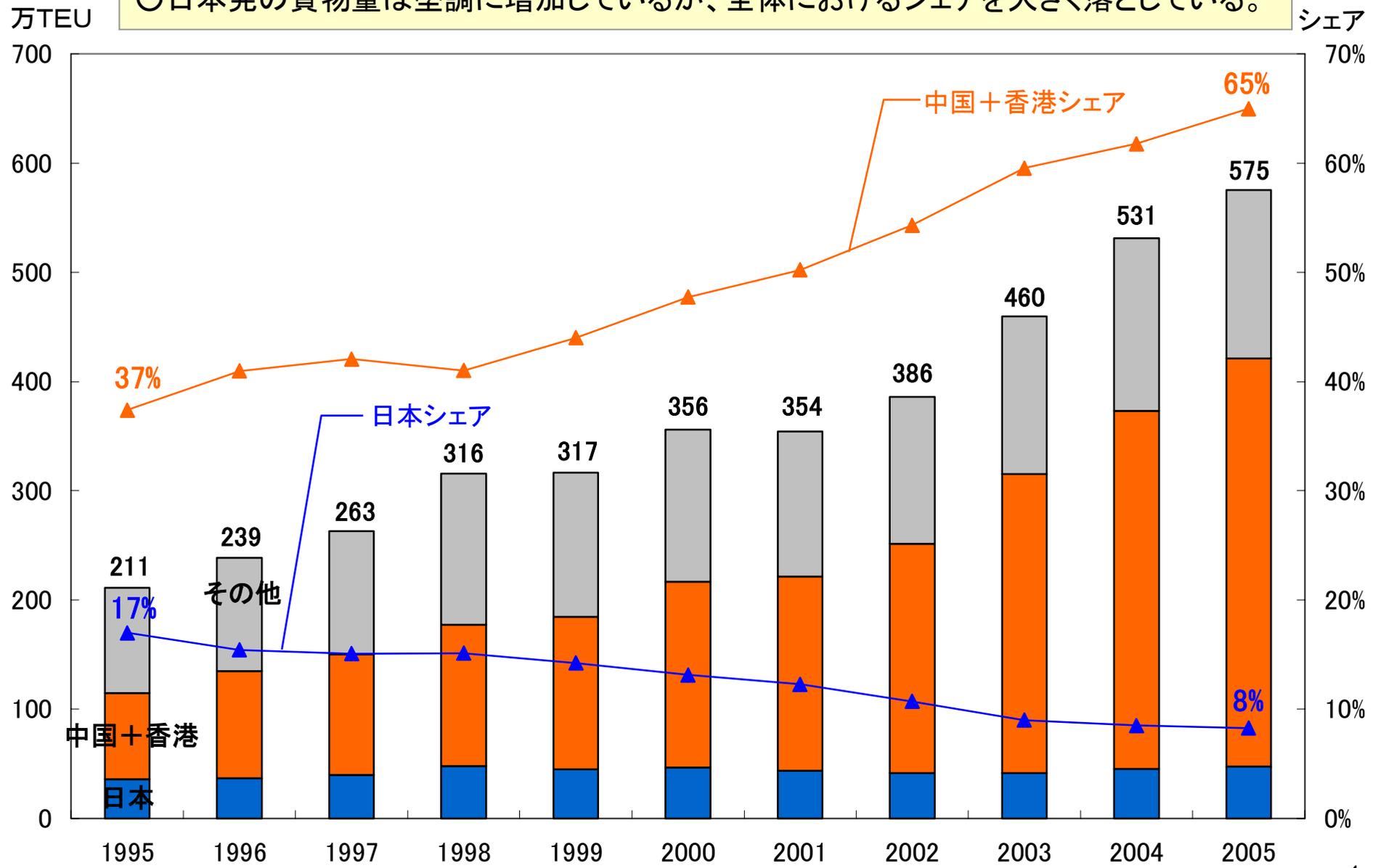
資料1-2-2

港湾の長期政策策定に当たっての論点整理(案)

# 参考資料(追加)

# アジア発欧州向け コンテナ荷動き量の推移

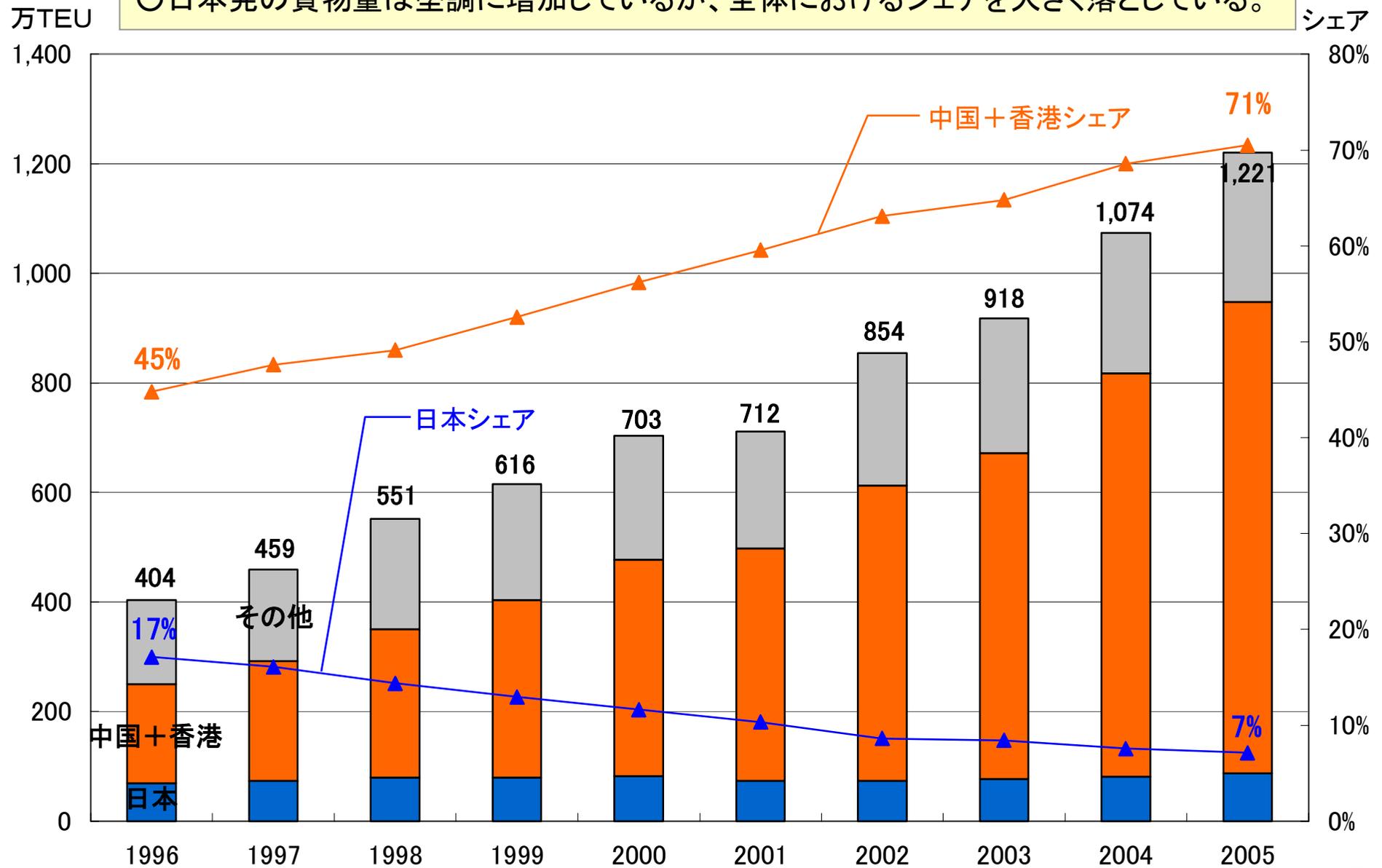
○アジア発欧州向けのコンテナ貨物量は10年間で2.7倍に増加。  
 ○日本発の貨物量は堅調に増加しているが、全体におけるシェアを大きく落としている。



出典：商船三井資料を元に、国土交通省港湾局作成

# アジア発米国向け コンテナ荷動き量の推移

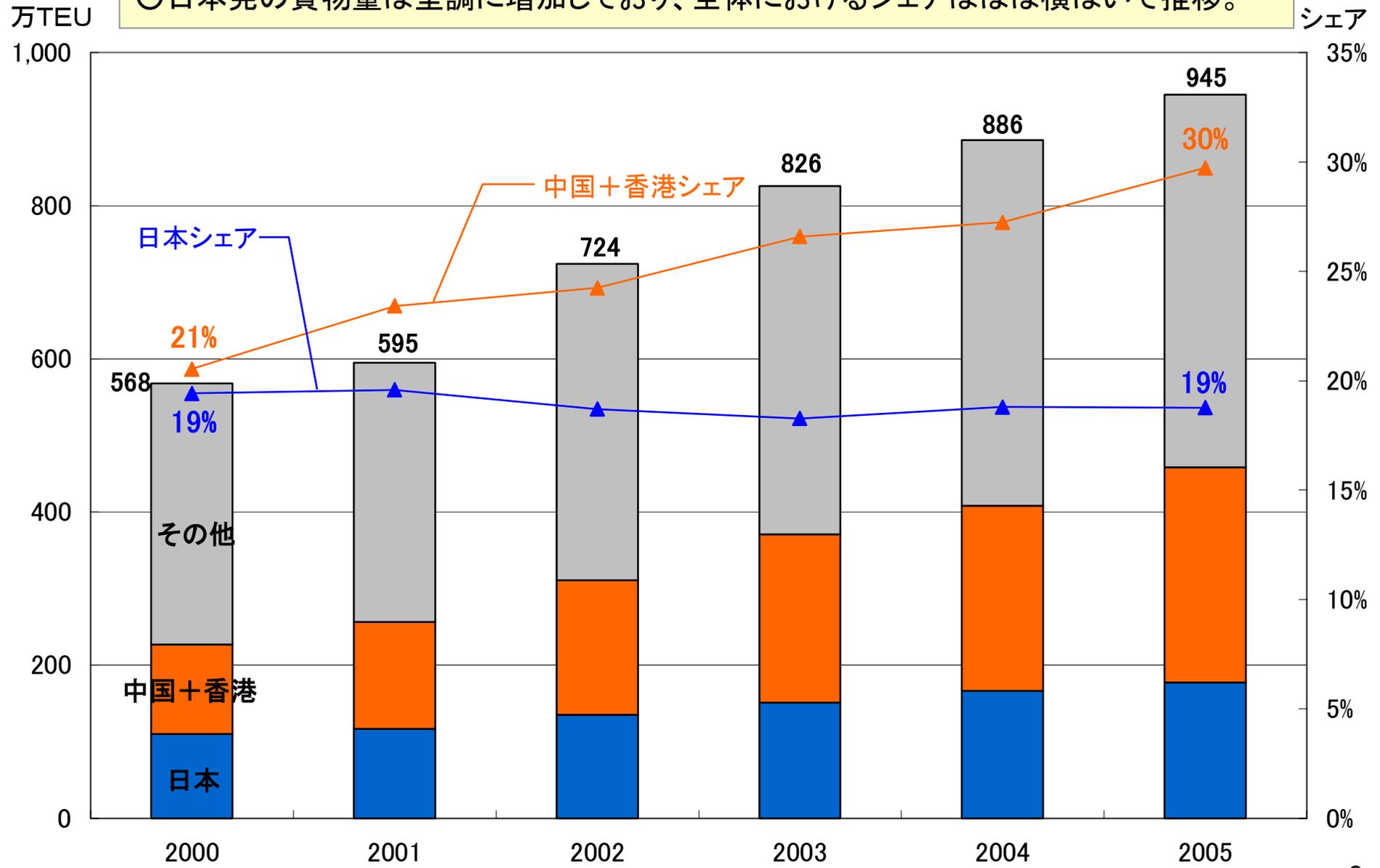
○アジア発北米向けのコンテナ貨物量は10年で3.0倍に増加。  
 ○日本発の貨物量は堅調に増加しているが、全体におけるシェアを大きく落としている。



出典: 商船三井資料を元に、国土交通省港湾局作成

# アジア域内 コンテナ荷動き量の推移

○アジア域内における貨物量は5年間で1.7倍に増加。  
 ○日本発の貨物量は堅調に増加しており、全体におけるシェアはほぼ横ばいで推移。



出典: 川崎汽船資料を元に、国土交通省港湾局作成

## コンテナ1個あたりの価格(貿易額)

- 米国向けと米国発のコンテナ1個あたりの価格(貿易額)を比べると、米国向けの貨物の方が価格が高い。
- 米国向けにおいては日本のコンテナ価格が最も高く、中国の価格が一番低い。
- 米国発においては、各国とも同程度の価格となっている。

### ○アジア→米国

価格/TEU	日本	中国	韓国	台湾
1995	7.30	2.93	5.56	4.26
2000	8.34	3.49	5.27	3.88
2001	8.06	3.37	5.03	3.89
2002	9.34	3.64	6.01	5.44
2003	9.09	3.70	5.99	5.25
2004	9.03	3.62	5.92	5.47
2005	8.70	3.72	5.69	5.54

### ○アジア←米国

価格/TEU	日本	中国	韓国	台湾
1995	2.00	2.68	2.00	1.43
2000	2.25	2.31	1.98	1.90
2001	2.33	2.24	2.14	2.56
2002	2.61	2.45	2.31	2.60
2003	2.62	2.37	2.38	2.51
2004	2.85	2.60	2.59	2.77
2005	2.87	2.62	2.87	2.50

※中国には香港を含まない。

単位:万\$ / TEU